

マルチプレックスリアルタイム法を用いた感染性胃腸炎関連病原体の検出のための検査法の実施の検討

1. 研究の対象

2019年1月～2019年12月に当院で急性感染性胃腸炎疑いで受診された方

2. 研究目的・方法

感染性胃腸炎を引き起こす病原体は、細菌・ウイルス・寄生虫等多種多様な病原体が存在する。現在、遺伝子検査法を用いて感染性胃腸炎関連病原体を多項目同時に検査する方法は、少ない。リアルタイムPCR法を用いて27種の病原体検索の検査の実施が可能か検討すると同時に2019年における県内およびガーナの胃腸炎病原体を把握することを目的とした。

実施期間;2023年5月から2025年3月末まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類（診療録からわかる範囲のみ）

情報; 検体採取日、年齢、性別、臨床症状

試料; 便

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

国立病院機構 三重病院 臨床研究部

研究責任者 根来 麻奈美、谷口 清州

三重県津市大里窪田町 357

059-246-6264